

大竹市医師会創立 70 周年記念会・祝賀会開催報告

令和 8 年 3 月 8 日（日）午後 3 時より、アゼリアおおたけ 2 階大集会室において、大竹市医師会創立 70 周年記念会・祝賀会を開催した。

大竹市医師会は、昭和 29 年 9 月の大竹市市制施行を契機として、佐伯郡医師会からの分離独立が検討され、昭和 30 年 5 月に誕生した。以来 70 年にわたり、地域医療、公衆衛生、救急医療、学校保健、産業保健、在宅医療、介護事業等、幅広い分野で地域住民の健康と安心を支える活動を続けてきた。

記念会は、株式会社中国放送アナウンス部専任部長の一柳信行氏の司会により進行した。はじめに大竹市医師会副会長 高路修先生が開会の辞を述べ、続いて大竹市医師会会長 坪井和彦先生が式辞を行った。来賓祝辞では、広島県医師会会長 松村 誠先生、大竹市長 入山欣郎様より、当医師会の歩みに対する温かいお祝いと、今後の地域医療への期待のお言葉を賜った。

続いて、坪井会長より「大竹市医師会のあゆみ」と題して、本会創立以来の歴史、諸先輩方の尽力、広島西医療センターをはじめとする関係機関との連携、そして現在の医師会活動について紹介があった。70 年の歩みを振り返る中で、地域とともに発展してきた医師会の姿を改めて確認する機会となった。

記念講演では、広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学教授 岡 志郎先生を講師にお迎えし、「消化管出血に対する内視鏡診断・治療の最前線」と題してご講演いただいた。消化器内視鏡診療の進歩、診断・治療の実際、今後の展望について、専門的でありながら分かりやすくご解説いただき、参加者にとって大変有意義な講演となった。記念会は、大竹市医師会監事 佐川 広先生の閉会の辞をもって終了し、その後、参加者全員で記念撮影を行った。

記念会終了後には、同会場にて祝賀会が開催された。祝賀会は、大竹市医師会副会長 真鍋憲幸先生の司会で進行し、坪井会長の開会のことばに続き、広島西医療センター院長 新甲 靖先生、広島県西部保健所所長 平本恵子先生よりスピーチを賜った。その後、大竹市医師会議長 長神 清先生のご発声により乾杯が行われ、和やかな雰囲気の中、会員ならびに来賓、関係機関の皆さまとの交流が深められた。最後に、大竹市医師会副会長 嶋田博光先生の閉会のことばをもって、盛会裡に終了した。

本記念会・祝賀会の開催にあたり、広島県医師会、大竹市、広島西医療センター、広島県西部保健所、近隣医師会、大竹市歯科医師会、大竹市薬剤師会をはじめ、多くの関係各位よりご臨席とご支援を賜った。また、当日の様子は中国新聞紙上にも取り上げられ、本会の節目を地域の皆さまと共有する機会ともなった。

創立 70 周年を新たな出発点として、大竹市医師会は今後も、会員相互の連携を深めるとともに、行政、病院、歯科医師会、薬剤師会、介護・福祉関係機関等と協力し、地域住民の健康と安心を支える医師会活動を一層推進していく所存である。



令和8年3月8日、アゼリアおおたけ2階大集会室